

県政レポート

県政をもっと身近に感じてほしい…

だから私は、伝え続けます。



春風にのってほのかに花の香りが漂う頃となりましたが、みなさまお変わりございませんか。

突発的な災害や事故に見舞われた年明けから早3か月が経過いたしました。未だ厳しい生活を強いられる地域の方々のことを思うと、何事もない当たり前の毎日に感謝する日々でございます。

2月議会も無事終了し、新年度予算等の情報をいち早くみなさまにお届けするため、今回もスタッフ一丸となって取り組んでまいりました。県政を身近に感じてもらえるよう、これからもしっかりと活動してまいります。引き続きよろしくお願いいたします。

思いがけぬ春寒にお風邪など召されませんようにご自愛くださいませ。

令和6年度予算

令和6年度は少子化対策充実！
県政の方針を説明します！

令和6年度当初予算は、「安心して希望と活力に満ちた山口県」の実現に向け、県外流出の著しい若者や女性の意識・ニーズを捉えた新たな施策を構築し、社会環境の変化や新たな課題に対応した効果的な施策展開を図る『人口減少の克服と本県のさらなる発展に確かな道筋をつける予算』と位置付け。

Ⅰ 人口減少の克服と本県の成長に向けた「3つの維新」の進化

人口減少の克服に向けた取組

若者や女性から聴取した意見等を踏まえ、少子化対策をはじめとする本県独自の新たな施策を構築するとともに、社会環境の変化や新たな課題に的確に対応するための必要な見直しを図り、「3つの維新」をさらに進化させます。

社会経済情勢の変化への対応

能登半島地震や近年の大雨等の自然災害への対応、新興・再興感染症危機への備え、物価高・賃上げへの対応など、現下の社会経済情勢に対応した取組を推進します。

Ⅱ 持続可能な財政運営の推進

厳しい財政状況の中にあっても、少子化対策をはじめとする困難な課題に挑戦していくため、行政DXの推進による業務の効率化を図りながら、事業のスクラップ・アンド・ビルドや4つの政策目的基金の有効活用により、積極的な施策展開を図ります。

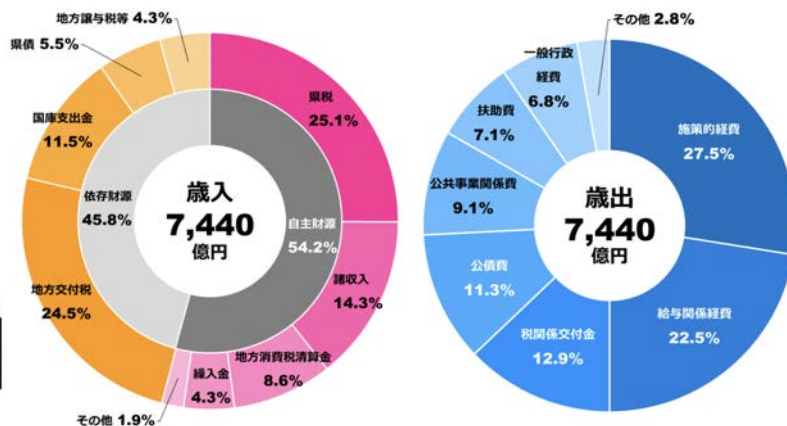
歳入・歳出の状況

当初予算額 7,440億21百万円（対前年度比 ▲6.3%）

区 分	令和6年度 当 予 算 額	令和5年度 当 予 算 額	増 減	増減率
	A	B	A-B=C	C/B
当 初 予 算 規 模 （ 一 般 会 計 ）	744,021	794,013	▲49,992	▲6.3%

《参考》 予算規模の推移（一般会計）

H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
7,066	7,026	6,809	6,730	6,854	6,741	7,529	7,862	7,940	7,440



I 人口減少の克服と本県の成長に向けた「3つの維新」の進化

少子化対策の抜本強化

結婚や子どもを持つことを希望する若い世代が安心して子どもを産み育てることができる社会環境づくりや、キャリア形成と育児・家事の両立を可能とする共育て社会の実現に向けた取組を強化します。

県外流出に歯止めをかける社会減対策の充実

若者、女性の県内定着、還流促進に向け、若者の価値観にあった労働環境の整備や移住施策、魅力ある雇用の場の創出、ふるさと山口への誇りと愛着を高める人づくり等の取組を充実・強化します。

持続可能な地域社会の実現

県民が豊かで幸せに暮らせる社会をつくるため、生活サービスへのデジタル実装事例の創出や医療・介護等の提供体制の構築、山口の豊かさを実感できる交流拠点の整備など、地域の維持・活性化につながる取組を充実・強化します。

少子化対策の抜本強化

● 結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える環境づくり

新 第2子以降の保育料無償化

国の無償化対象とならない幼児を含め、第2子以降の保育料を無償化



新 不妊治療に係る経済的負担を軽減

生殖補助医療の自己負担分（3割分）及び先進医療の治療費（全額）を助成

新 「出逢いませ山口大作戦」の実施

結婚の気運醸成及び出合いの場を提供（「やまコンin海響館」など）

新 保育士の独自加配による保育の質の充実

3歳未満児クラスに国基準を上回る保育士を配置できるよう新たに補助制度を創設

新 「こどもや子育てにやさしい休み方改革」の推進

こどもと親の双方が一緒に休み、親子で楽しめる社会環境づくりを推進

県外流出に歯止めをかける社会減対策の充実

● インバウンド需要を取り込む観光力の強化

新 海外からの注目度の高まりを活かした首都圏や欧米豪等へのPR等、誘客促進に向けた取組を強化

新 山口市、宮島を起点とした周遊バスの運行

新 MaaSサービスと二次交通の連携支援

新 「おいでませ ぶくの国、山口」による効果的なプロモーションの実施



持続可能な地域社会の実現

● 将来にわたり安心して暮らせる地域づくり

新 県立総合医療センターの建替による機能強化（用地取得等）



新 薬局空白地域において、オンライン服薬指導や医薬品の購入ができる体制を構築

新 地域における訪問看護体制の安定化や推進を図るため訪問看護総合支援センターを設置

新 へき地における医療提供体制を維持するため、医業承継に係る診療所等の施設整備を支援

新 バス・タクシーの運転士確保に向けた協議会を設置し、就職フェア・セミナー等を実施

産業維新

強い農林水産業育成プロジェクト

新 需要に応じた水稲作付拡大促進事業 (12,000千円)

～水田フル活用による地域農業の持続的発展～

需要のある水稲の作付拡大に取り組む経営体を支援し、生産・生活基盤である水田を守り、地域農業の維持・発展を図ります。

- ◎ 水稲作付拡大を行うモデル経営体の育成
- ◎ 作付拡大を支える種子産地の強化
- ◎ 水稲作付拡大に向けた意識の醸成



新 地域農業資源リノベーション促進事業 (63,400千円)

～遊休資産を利活用し、県内外からの就農を促進～

遊休資産を利活用できる仕組みを新たに構築し、営農開始時の初期投資のハードルを下げ、新規就農者等の確保を促進します。

- ◎ 遊休資産の情報を集約したWebサイトの構築
- ◎ コーディネーターによる県域での資産継承の支援
- ◎ 遊休資産を利活用するモデル的取組の実証支援



新 やまぐちの林業DX推進事業 (13,870千円)

～AI導入による林業イノベーションの推進～

AI技術を活用した森林整備計画作成の超効率化により、計画的な施業面積拡大等を図ることで、林業の経営力向上を支援します。

- ◎ 森林整備計画作成自動化システムの開発
- 基本設計の実施



新 やまぐち和牛燦生産拡大推進事業 (34,500千円)

～みんなで増やそう！やまぐち和牛燦(きらめき)～

先端技術等を活用した県産和牛の高品質化と、更なる需要拡大を行い、やまぐち和牛燦の取扱頭数を増やします。

- ◎ 高能力肥育用子牛の生産支援
- ◎ 肥育牛の高品質化支援と登録制度の創設
- ◎ 宿泊業界等へのPR



大交流維新

新たな観光県やまぐち創造プロジェクト

新 インバウンド特別強化対策事業 (57,333千円)

～絶好の機会を活かしたインバウンド対策の強化～

NYタイムズの記事掲載による注目度の高まりや、大阪・関西万博の開催を契機とした誘客促進のため、本県の認知度向上や受入環境充実の取組を強化します。

- ◎ メディア等視察ツアーの実施
 - 欧米豪市場において影響力のあるメディア等の招請
- ◎ デジタル媒体等を活用したPR
 - 交通拠点等における本県の観光情報の発信
 - ターゲティング広告の実施
- ◎ JR等との連携による誘客促進
 - 観光商品と交通を組み合わせた広域周遊旅行商品を造成
 - JR・近隣自治体との共同プロモーションの展開



新 観光二次交通充実事業 (95,733千円)

～県内周遊を“便利に”そして“快適に”～

新たな観光周遊バスの運行に向けた実証の実施や、稼働中のMaaSサービスとの連携強化などにより、本県の観光二次交通の充実を図ります。

- ◎ 観光周遊バスを活用した二次交通の充実
 - 角島大橋・元乃隅神社ルート
 - 秋吉台・萩城下町ルート
 - 錦帯橋・柳井白壁の町並みルート
- ◎ MaaSサービスを活用した二次交通の充実
 - MaaSサービスと二次交通事業者との連携支援
- ◎ 二次交通の情報発信強化



生活維新

結婚・妊娠・出産・子育て応援プロジェクト

新 しあわせ運ぶ妊活応援事業 (203,000千円)

～安心して不妊治療を受けられる環境を整備～

生殖補助医療及び生殖補助医療と併用して実施される先進医療に係る費用の一部を助成します。

- 【助成限度額】 生殖補助医療の自己負担分 6万円/回
先進医療に係る経費 20万円/回
- 【負担割合】 県10/10



拡 切れ目のない妊娠・出産・子育て支援推進事業 (115,174千円)

～安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを推進～

妊娠前から子育て期にわたる切れ目のない支援の取り組みを強化します。

- ◎ 不妊に関する講演会及び不妊専門相談会の開催
- ◎ やまぐち版ネウボラの推進
- ◎ 新生児スクリーニング検査の実施
- 【拡】 検査対象疾患を拡大 (20疾患→22疾患)



一般質問

この度の2月定例会において、4回目の一般質問に登壇させていただきました。
質問内容と回答を要約してお知らせいたします



高校再編に伴う学校施設の充実について

PICK UP

県立高校のトイレの洋式化が進んでいないという状況をよく耳にする



トイレの洋式化については、令和2年度に、高校を含む全ての県立学校を対象とした意向調査を実施し、その際、要望があった全ての箇所について、集中的に改修したところであり、令和5年9月1日時点で、県立高校の生徒が利用するトイレの洋式化率は46.5%となっています。

今後も、トイレの老朽化対策をはじめ校舎の改築等の機会を活用しながら、さらなる洋式トイレの整備を進めるとともに、生徒の状況の変化などで、洋式トイレの追加が必要となった場合にも、学校の要望等を踏まえながら、必要な整備を行うこととしています。県教委といたしましては、今後とも、衛生的で使いやすいトイレ環境の整備を進めるなど、学校施設の充実に取り組んでまいります。

海業の振興について

海業の振興について、今後どのようなことができるのか？ 水産県山口が目指す方向性はどこ？



県としては、市町や漁業関係団体等の「海業」の推進に対する機運醸成を図るとともに、漁村地域の賑わいを創出する取組を支援することとしています。具体的には、まず、市町や漁業関係団体等に対し、「海業」への理解を深めるための説明会を開催するとともに、漁港施設の新たな利活用に係る情報提供や助言等を行うことにより、地域の取組意欲の向上につなげることにしています。

また、漁村の賑わいの創出に向けては、地元市町や漁業関係団体等の要望や意見を踏まえ、引き続き、水産物の加工・販売施設の整備や、漁港を活用した養殖業等への新規参入等の取組を支援し、水産物の消費拡大や漁村地域の交流促進を図ってまいります。

こうした取組に併せ、漁村の活力の源であり、「海業」の牽引役ともなる新規漁業就業者の一層の確保を図るため、引き続き、技術研修や定着支援など幅広い担い手支援策に積極的に取り組んでまいります。県としては、今後とも、国や市町、漁業関係団体等と緊密に連携しながら、「海業」の振興による地域の水産業の発展や漁村地域の活性化に取り組んでまいります。

編集後記

市民の皆様の声を県政に届けることも私の仕事の一つですが、社会貢献する取り組みも必要だと感じ、今年から「いそべとしえプロジェクト」と題して活動を開始しました。様々な世代の方たちを笑顔にしていこうプロジェクトとなるよう、小さなことからスタートしています。どうぞご期待ください。

お気軽に
どうぞ

いそべとしえ 検索

日々の活動を
ホームページにて更新中！
是非ご覧くださいませ。

お問い合わせ

いそべとしえ事務所

☎0833-57-0205

〒743-0009

山口県光市室積松原 17-12

(受付: 平日 9 時～17 時)

